



雨のち心晴れ

校長 木内 絵美

朝の空気にふわりと金木犀の香りが漂い、校庭にも秋の気配が感じられるようになりました。今年は9月の気温が例年より低かったことで、金木犀の花がいつもより早く咲いたそうです。

朝、校門で子どもたちを迎えていると、飼育ケースを抱えて登校してくる姿を多く見かけます。「何かいるの?」と聞くと、「バッタだよ!」とか「トカゲ、かわいいよ!」と答えてくれます。1, 2年生が主ですが、小さな生き物を飼育する学習活動が行われています。教室に授業を見に行ったときも、「校長先生、大きいバッタが中にいるよ。」と棚の上の飼育ケースを指さして教えてくれます。虫が苦手な子どももいますが、大切に世話をしている姿がとてもほほえましいです。生き物を飼育する中で、きっと多くのことを学んでいくのだらうと思います。

夏休みが明けてから早くもひと月がたちました。今年の9月は雨の日が多く、外で思いきり遊ぶことができない日が続きました。気分がもやもやしたり、なんとなく落ち込んだりして、理由はわからないけどつらいと感じることもあったのではないのでしょうか。大人でも天気によって気持ちが左右されることがありますから、子どもたちにとってはなおさら心の揺れが大きかったことと思います。10月からは創立55周年の運動会練習が本格的に始まります。運動会に向けての様々な活動の中で、青小スローガン「GoGo! 明るい未来へ 協力して作ろう青小レインボー」に近づく姿がたくさん見られることを願っています。

間もなく前期が終わりを迎えようとしています。10月は一年間の折り返し地点、この節目を機に、子どもたちがこれまでの歩みを振り返り、自分が頑張ってきたことを認め、また新しい目標や課題に目を向けて後期の生活に向けた意欲を高めていけるように、教職員一同チームで子どもたちを支えていきたいと思っています。

最後になりますが、前期を通して、毎日の登下校の安全を見守ってくださった はためき隊の皆様、地域の皆様、そして様々な場面で学習活動を支えてくださったボランティアの皆様方に心から感謝申し上げます。子どもたちの健やかな成長のため、保護者や地域の皆様のお力添えをいただきながら、これからも一人ひとりを見守っていきたいと考えています。10月もどうぞよろしくお願いします。